

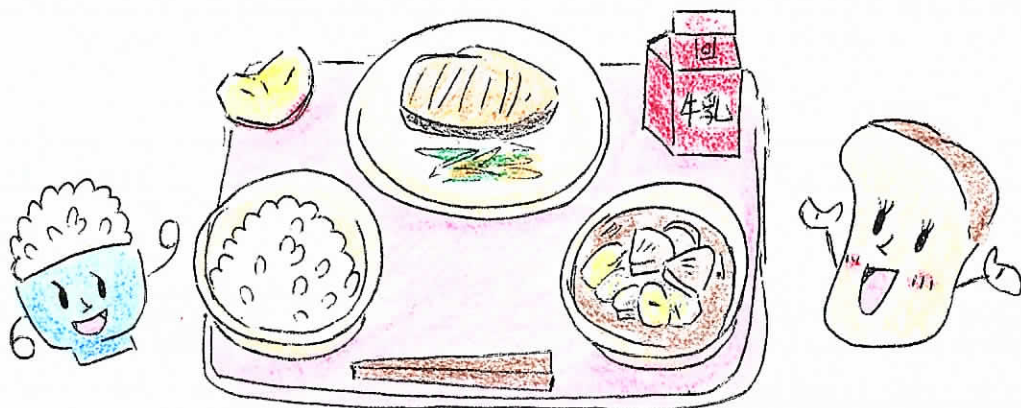
# 1月 給食だより

野田市立岩木小学校

明けましておめでとうございます。令和4年も、安全・安心で美味しい給食を提供できるよう給食室を運営していきます。

1月24日から28日は“学校給食週間”で野田市の小中学校統一の献立となります。様々な県の料理を提供します。詳しい献立とどこの県の料理であるかは、献立表に記載してあります。

## 1月24日から30日は全国学校給食週間です



学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で貧困児童を対象に行われたのが始まりです。

明治時代に始まった学校給食は、第二次世界大戦で中断しました。その後、ユニセフなどからの支援物資で給食が再開され、これを記念し

「学校給食週間」と定められました。現在では、食べ物のありがたさや、給食に関わる人への感謝の気持ちを見直す期間となりました。

## 寅年と食に関すること：うなぎ



干支には、干支ごとに決まった神様がいます。寅年は、知恵と福德の神様です。うなぎは、この神様の“使い”であり、昔は、“使い”とされる動物の命を奪うことを禁じたり、“使い”の動物を法律で守ることもありました。ですので、寅年の人は、うなぎを食べることができなかった時代もあったそうです。

ちなみに、丑年の神様も寅年と同じ神様です。



## お正月に食べる料理と意味



### 今回はお雑煮について紹介します。

始めは、正月に限らず食べられていました。のちに大晦日の夜、餅やその土地で収穫された海の幸や山の幸などを神様にお供え物としてささげ、元旦にそのお下がりをお雑煮にして食べたことが習慣となりました。年神さまにお供えしたものをお下がりとして頂くことは、年神さまのパワーを頂くことができるという言い伝えでお正月にお雑煮を食べることが定着しました。

その他にも、お節料理一つ一つに縁起の良い意味が込められていたり、七草がゆには“無病息災”を願って食べるという意味があります。行事の時に食べる料理は、それぞれ意味が込められているのでぜひ調べてみてください。